

【第1章】いわての教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- 教育振興運動や「いわて教育の日」などの地域ぐるみの取組の推進
- 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- 県立美術館、県立図書館の改築整備等
- 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山等の世界遺産登録

2 社会状況の変化

- 人口減少・少子化・高齢化の進行
- 急速な技術革新の進行
- グローバル化の進展
- 子どもの貧困など社会経済的な課題の表面化
- 地域間格差の拡大
- 東日本大震災津波からの復旧・復興

3 本県の教育の現状と課題

学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
 - 授業力の向上や家庭学習の定着
 - 高度情報社会に主体的に対応する力の育成
 - 運動習慣の定着
 - 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
 - いじめへの適切な対応
 - 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
 - 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
 - 大学入試制度改革への対応
 - 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
 - 教育の質の保証と学ぶ機会の保障

社会教育

- 家庭の状況変化
 - 家庭や地域との連携による社会全体の教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
 - 教育振興運動や生涯学習による地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
 - 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
 - 文化芸術やスポーツの推進とその取組を通じた地域への愛着の醸成

【第2章】目標・取組の視点

基本理念

「学びと絆で夢と未来を拓く教育創造県いわて」の実現
～人を育む教育は社会形成の礎～



目指す姿

学校教育

子どもたちが、地域とともにある学校において生き生きと学び、夢を持ち、それぞれの人間形成と自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けています。

社会教育

県民が主体的・相互的に連携しながら、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加を通じて、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

取組の視点

視点1

岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進

視点2

本県に愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成

視点3

学びの場の復興の更なる推進

【第3章】具体的な施策の内容

学校教育

- 岩手で、世界で活躍する人材の育成
 - 復興教育の推進、社会に貢献する教育の推進、世界と岩手をつなぐ人材育成、キャリア教育の推進、ライフデザイン能力の育成、イノベーションを創出する人材育成 等
- 一人ひとりの学力を伸ばす学びの充実
 - 学習指導要領の着実な実施、組織的な授業改善の推進、生徒の進路実現の推進 等
- 豊かな人間性と社会性を育む学びの充実
 - 自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成、自己肯定感の高まりなど豊かな心の育成、学校における文化芸術教育の推進、社会に参画する力の育成 等
- 健やかな体を育む学びの充実
 - 豊かなスポーツライフの充実、適切な部活動体制の推進、健康教育の充実 等
- 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
 - 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実、特別支援教育の多様なニーズへの対応、教職員の専門性の向上、県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進 等
- 一人ひとりがお互いを尊重し、楽しく学べる学校づくり
 - いじめ防止対策の推進、いじめ事案への適切な対応、不登校対策の推進、組織的な相談体制の充実、情報モラル教育の推進
- 安心して学ぶことができる質の高い教育の場づくり
 - 学校安全等の環境整備、目標達成型の学校経営、教育機会の確保、新たな県立高等学校再編計画の策定、多様なニーズへの対応、教職員の確保・育成、教職員の働き方改革、私立学校の特色ある学校教育の推進、学校施設整備 等

社会教育

- 学校と家庭・地域が協働して子どもを守り、育てる仕組みづくり
 - 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり、多様な体験活動の充実、家庭教育の充実 等
- 人生のステージごとに学び続けられる場づくり
 - 多様な学習機会の充実、学びと活動の循環による地域の活性化、社会教育の中核を担う人材の育成、文化財の保存と継承 等

